

No. 911

# 岐路に立つ小笠原

小笠原諸島が返還されてこの6月26日で3周年。返還後3年間、島の自然を守るため、土地などの現状変更や建物の新築を禁じてきた「小笠原諸島復帰暫定措置法」もこの25日で期限切れとなった。そこで「復興計画か観光開発か」今後の小笠原のあり方が大きくクローズアップされてきた。

「観光開発よりも島の自然を保護し、島民の生活を保障してもらうことが先決だ」——小笠原諸島の島民の7割がこう答えている。しかし、太平洋の波が白く砕ける断崖、静まりかえった二見湾、咲き誇るハイビスカス、これらの自然の美しさが、この島の未来を象徴しているといえよう。

## タレント候補の泣き笑い

### — 参院選 —

70年代初の国政レベル選挙である第9回参院通常選挙が6月27日全国いっせいにこなわれました。全国区では3年前5人のタレント候補が立ち全員が当選しましたが、今回もまた10人のタレントが立候補しました。その結果、1位田英夫氏（社）、2位安西愛子氏（自）、3位望月優子氏（社）と上位を独占、タレントの強さをまざまざと見せつけました。更に一竜斎貞鳳氏（自）、立川談志氏（無）も当選、前回に引続き5人のタレント議員が誕生しました。開票が始まって終始当落線上に名をつらね、やっと最下位当選の立川氏の喜びは大変なもの、男泣きの当選祝いでした。

しかし、他の残る半分は落選、浪越徳次郎氏は「もう二度と出ないつもりです。私はやっぱり指圧がむいていまずな。ワハハハハ……」ともう議員さんはあきらめムード。野末陳平氏も今一步及ばず<sup>\*</sup>参院選全国区はタレント候補、に一つの限界を示したといえるようです。